

『数学教育史研究』の編集規定・投稿規定・執筆要項

I 編集規定

1. 本誌は、日本数学教育史学会の機関紙であり、年1回発行する
2. 本誌に掲載される原稿は、数学教育史に関するもので未発表のものに限る。
3. 本誌には、研究論文、研究ノート、数学教育史文献目録、文献紹介、その他会員の研究活動に関する記事等を掲載する。
4. 論文の掲載採否は、複数の審査委員による精密な審査を経て、編集委員会で審議し決定する。
5. 編集委員会は、掲載予定の原稿について執筆者との協議を通じて、内容の変更を求めることができる。
6. 本誌に掲載された研究論文、及びその他の原稿は原則として返却しない。

II 投稿規定

1. 学会員は、本誌に投稿することができる。投稿しようとする会員は、投稿規定及び所定の執筆要項に従い学会事務局宛に送付するものとする。
2. 投稿原稿の種別は、研究論文、研究ノート、数学教育史文献目録、文献紹介等とし、著者が種別を指定する。
3. 原稿の分量は、研究論文については12ページ、研究ノートについては8ページ、数学教育史文献目録については6ページ、文献紹介等については4ページをもって限度とする。
4. 原稿を投稿する場合は、パソコン等によってプリントアウトした原稿を5部（コピー可）と原稿を記録したCD-Rを学会事務局宛に送付する。
そのCD-Rには、テキスト形式で保存したファイルも同時に入れること。
CD-Rのラベルには、氏名・タイトル・OS名・使用したワープロソフト名を記入すること。
例) 山本信也・「大正期の幾何教授」・Windows7・Microsoftword2010
5. 研究論文においては、欧文アブストラクト（200語程度）を本文中に含める。

III 執筆要項

1. 投稿原稿は横書き完全原稿とし、ワープロを用いて作成すること。
2. ページ設定は、A4版、25文字×45行×2段組み（1ページ、2250字）とする。研究論文の最初のページには、論文タイトルー副題ー著者名を15行の中におさめ、本文は16行目から始める。
3. 20字以内のランニングヘッド（偶数ページの上部に記載される論文タイトル）は印刷業者に任せる。
4. 研究論文、研究ノート、数学教育史文献目録、文献紹介については、著者の所属機関名など連絡先を脚注に記す。
5. 研究論文、研究ノートについては、欧文タイトルとローマ字表記による著者名を付記する。なお研究論文にあっては欧文アブストラクト（200語程度）をつける。欧文タイトルおよび欧文アブストラクトは、当該欧文に通じた人物による校閲を経た上で提出すること。
6. 邦文の副題は「—○○○—」とし、欧文の副題は本題の後に「:」で区切って続ける。
7. 図及び史料はスキャナーで読み取って貼り付ける。

8. 句点はコンマ (,), 終止点はピリオド (.) を用いる.
9. 原稿中の上ツキ文字, 下ツキ文字はそのまま書くこと.
10. 外国人名, 外国地名は, よく知られたもののほかは, 初出の箇所にその原綴りを示す.
11. 西暦年以外の年記を使用する場合には, 明治 33 (1900) 年のように書く.
12. 文中の引用文は「 」の中に入れる. 長い引用の場合は本文より 2 字下げて記入する. 引用文の前後の 1 行空けはしない.
13. 章・節の番号は, 算用数字を用いる. 章のタイトルはゴシック体とし, 中央に書く.
14. 引用文献及び註は, 通し番号(1), (2), …を用いて原稿の最後にまとめて記載する.
15. 引用文献の記載においては, 出典を確認できるよう十分な書誌データを示す. 書き方は以下の例に準じる.

<論文>

(1) 国元東九郎「論理幾何ト直観幾何トノ交渉」, 『日本中等教育数学会雑誌』, 第 7 卷, 第 4・5 号, 1925 年, 222 頁.

(2) Wittmann, E. Ch., 1984: Teaching Units as the Integrating Core of Mathematics Education.
Educational Studies in Mathematics 15, 25-36.

<書籍>

(1) 小倉金之助・鍋島信太郎『現代数学教育史』, 大日本図書, 1957 年.

(2) ベーレンゼン・ゲティンク (森外三郎訳)『新主義数学』, 文部省, 大正 4 (1915) 年.

16. 原稿には, ページ番号を入れる.

付則 本編集規定・投稿規定・執筆要項は 2000 年 11 月 16 日から実施する.
編集規定・投稿規定・執筆要項改正は 2009 年 11 月 6 日から実施する.
編集規定・投稿規定・執筆要項改正は 2012 年 11 月 9 日から実施する.